

議 事 録

会議の名称	第 4 回上牧町学校統合準備委員会（学校教育部会）会議
開催日時	令和 5 年 12 月 22 日 午後 2 時 00 分から
開催場所	上牧町役場 西館 2 階 第 6 会議室
出席者 （委員等）	福仲部会長、西浦委員、吉川委員、松永委員、辻本委員、 安中委員、向井委員、上西委員、高田委員
出席者 （事務局等）	教育総務課長、教育総務課長補佐、教育総務課 主事
傍聴の有無	なし
議事録の 作成方法	要点筆記（簡易対話形式）
会議の議事	1. 開会 2. 部活動アンケートの結果等について 3. その他（連絡事項等） 4. 閉会
会議資料	・学校教育部会資料 3-4：「部活動アンケート調査結果報告書」 ・学校教育部会参考資料Ⅰ：「令和 5 年度（2023 年度）の部活動所属状況等」
決定事項	なし
特記事項	なし
次回日程	未定

内 容（簡易対話形式）

1. 開会

事務局 定刻により開会する。

 なお、本会議は「上牧町審議会等の設置及び運営に関する規則」第10条の規定に基づいて公開とし、会議録作成のためＩＣレコーダーで録音していることについてご了承いただきたい。

 それでは、配付資料について確認する。

（事務局が配付資料を確認）

2. 部活動アンケートの結果等について

福仲部会長 それでは案件事項を進める。

 まず、学校教育部会資料 3-4：「部活動アンケート調査結果報告書」及び学校教育部会参考資料Ⅰ：「令和5年度（2023年度）の部活動所属状況等」に関して、事務局から説明をお願いします。

（資料について事務局が説明）

事務局 現在の所属状況やアンケート結果（将来ニーズ等）を踏まえた統合時点（令和8年4月時点）の整備方針を本部会で検討いただき、そこに至るまでの段階的な整備方針（令和6年度～7年度の整備方針）については、各中学校長をはじめとする学校側で検討いただければと考えている。

福仲部会長 ただいまの説明について、何か質問等はあるか。

安中委員	小学校低学年では家庭科が人気だが、家庭科部はどのような活動をしているのか。
福仲部会長	調理や手芸等が主な活動内容である。
安中委員	第二中学校も同様か。
西浦委員	私が赴任してきた時点で家庭科部は存在していなかった。
安中委員	上牧中学校では専門的な方が指導しているのか。
福仲部会長	現在、本校（上牧中学校）には常勤の家庭科教員がいないので、専門的とは言えないものの、そういったことが得意な方に指導していただいている。
安中委員	美術部は専門的な方が指導しているのか。
福仲部会長	本校の美術科教員は水泳が得意なので、水泳部の指導をお願いしているが、臨時的に美術部の指導をお願いすることもある。
上西委員	家庭科について、小学生のアンケート結果からは非常に人気が高いことが分かるが、中学生のアンケート結果では人気が低い。この理由としてどのようなことが考えられるのか。
福仲部会長	実際に中学生が部活動を選択する理由としては好き嫌いのほかに活動頻度等もあるのだと思う。例え調理や手芸が好きだったとしても、学校部活動としての日常的な活動として求められるかどうかは別だということではないか。 部活動整備を検討する前提として、専門性を持った教員を確保

することは非常に難しいということを委員の皆さんには共通認識として持っていただきたい。教員の配置はあくまでも教科によるものなので、本校に配置された教員が本校にある部活動に対する専門性を有しているとは限らず、むしろ専門外である可能性の方が高い。そうしたなかでも維持していけるような整備をする、また、限られた教員数でも指導等における一定の質を担保するという観点からも、統合時は10種類程度が適切だと考えている。また、先ほど事務局から「段階的な整備方針は学校側で検討を」という趣旨の説明があったが、年明けには来年度入学生向けの説明会もあるので、段階的な整備として新入部員の募集を停止する部活動も考えておかなければならない。ただし、募集を停止する場合であっても既に所属している生徒の活動は保障しなければならないと考えている。

西浦委員

私は本校（第二中学校）に赴任して6年目になるが、教員数が減少していくなかでも各部活動に正副顧問を1名ずつ充てながら運用できるよう、段階的・計画的に整理してきた。そうしたなか、今年度限りでサッカー部、男子ソフトテニス部、茶華道部を廃部にすることが決まっている。卓球部は男女共通の教員を顧問として充てているので、来年度は実質7種類（野球部、女子ソフトテニス部、男子バスケットボール部、女子バレーボール部、卓球部、吹奏楽部、美術部）となる。ただ、引き続き各部活動に正副顧問を1名ずつ充てるとなると教員が14名必要になるが、これは本校の教員定数よりも多い。来年度以降も教員数は減少していく見込みであることを考えると非常に厳しい運用が求められることにはなるが、統合が目前に迫っているので、何とか現在の活動を維持していくしかないと考えているところである。

辻本委員

参考資料Ⅰの参考情報としてバドミントン部には記載がない

が、対外試合等はないということか。

福仲部会長 ここに記載されているのは、あくまでも男女での公式戦等の会場・日程の扱いに関することである。

辻本委員 土日の指導にも教員が当たっていることと思うが、これは公式戦等に限ったことか。

福仲部会長 公式戦等だけでなく練習も行っており、その指導にも教員が当たっている。今は活動時間に制限があることから基本的には土日どちらかだけの活動にはなるが、公式戦前等は両日とも活動することが多く、平日の活動時間を含めたトータルで調整している状況である。公式戦等においては教員の拘束時間が10時間以上となることもよくある。

辻本委員 外部指導員は町が探してくるのか。

福仲部会長 学校から要望して各校2名ずつ町から配置いただいている。

辻本委員 外部指導員への手当等は町から支給されるのか。

事務局 1回4時間程度の部活動の指導に対して6,000円を町から支給している。

福仲部会長 教員の土日出勤に関しては、家庭を持つ教員に対し申し訳ない気持ちになる。また、資料中、新規整備対象としてダンス部、PC・プログラミング部の2種類が挙げられているが、どちらも指導者側に専門性が求められるものであることから、現状を踏まえて新たに整備するというのは非現実的だと思う。

高田委員	高校の文化祭の出し物のように、動画等で振付を見て覚えるようなレベルであればできると思うが、本格的な部活動として専門性を求めていくということになれば厳しいと思う。
福仲部会長	ダンス部については、今後の地域移行等の動向を見ながら、外部委託で実現できるかどうかということを探索していくのがベストではないかと考えている。
安中委員	先ほどからの話を伺っていると、部活動に関する諸課題は今に始まったことではないと思う。こうした諸課題に対して町としては取組を行ってこなかったのか。
事務局	文化部については、外部指導員を配置することで教員の負担軽減に一定の貢献はできているものと考えている。
安中委員	部活動に関する諸課題というのは全国的な問題でもあるが、根本的な課題解消に向けて町としてできることはないのか。
事務局	繰り返しになるが、外部指導員配置等の一定の取組は行っている。また、これに加えて県の職員である教員に対して町が個別かつ直接的に働きかけていくような展開というのは難しいところがある。
福仲部会長	国レベルで義務教育に対する予算が拡充されれば解消していく課題がたくさんある。例えば、私立学校の授業料無償化に充てる予算があるのなら、現在の 40 人学級制を 30 人学級制として教員定数を増やすための予算に充ててほしいというのが個人的な本音である。そうすれば、たくさんの部活動があっても教員数

でカバーすることができると思う。ただ、現状としては国も都道府県もそうした方向には向かっていないように思うので、設置者である市町村にばかり対応が求められてしまっている。こうしたことも含め、統合後の中期的な展望に基づく教員の負担軽減、部活動指導等における質の担保という観点からも、種類を減らす方向で考えていきたい。

安中委員 教員志望者も減少傾向にある現状から考えると、こうした部活動の問題もいずれは行き詰まるときが来る。現在の部活動における運用上の苦しさを住民にも知ってもらい、縮小はやむを得ないということを理解してもらう必要があるのではないかな。

福仲部会長 資料にもあるが、統合時をピークに学級数は減少していき、それに伴って教員数も減少していくことになる。まずは10年程度維持できる整備について考え、実際に動き出してから社会情勢等を踏まえながら適宜検討していくべきだと考えている。

上西委員 教員の負担軽減という観点から、活動時間の短縮を検討する必要もあるのではないかな。統合により通学距離等が延伸する生徒の下校時の安全面も気になる。

福仲部会長 基本的には最終下校時間前まで部活動をしている。

吉川委員 6時間目が終わってからの限られた時間内でウォーミングアップ等も含めて活動するので、今以上に活動時間を制限すると子どもたちは不満に思うかもしれない。

福仲部会長 教員目線、生徒目線、保護者目線のそれぞれを踏まえた最適解がないというのが現状である。競技によってはクラブチーム等と

学校部活動の両方に所属できるものもあり、教員の専門性も含めたそれらがうまく噛み合っているところは競技力が高い。

吉川委員 野球部は他校との合同チームになっているが、練習も合同で行っているのか。

福仲部会長 普段の練習は学校単位で行っている。

向井委員 令和 6 年度～7 年度については学校側で検討していくということであったが、基本的には現在の両校で共通している部活動を残していくということになり、新規整備は難しいと思う。

福仲部会長 「現在の上牧中学校における整備状況が上限であり、基本的には縮小させる方向で検討を進めていく」というのが、本日の会議における共通認識だと思う。新規整備については統合時ではなく、統合後の社会情勢等を踏まえて外部委託等も視野に検討していくということになるのではないかな。

辻本委員 何らかの部活動を廃止する場合、住民等からのコンセンサスを得てからの方がいいと思う。

福仲部会長 統合に関する情報発信としては「学校適正化だより」がある。部活動に関しても一定の方向性が決まったタイミングで同紙にて適宜情報発信していく必要があると考えている。

安中委員 まずは、課題の見える化（情報共有）が必要だと思う。

高田委員 統合で部活動が増えると考えている保護者も多いと思う。

向井委員 基本的に保護者は自分の子どもが所属している部活動のことしか知らないと思う。まずは全体としての課題を知ってもらうことが大切である。

福仲部会長 統合により部活動が減少するというのは一般的に違和感があるものかもしれないが、根本的なところで現在の運用状況自体が相当厳しいものであるということ、また、統合後の生徒・学級・教員の減少傾向も併せて説明し、一定の質を担保しながら健全に運用していくための適正規模に対する理解を求めていくことになるのではないか。

ほかに意見等はあるか。

(意見等なし)

3. その他（連絡事項等）

福仲部会長 それでは、委員又は事務局から何か連絡事項等はあるか。

(連絡事項等なし)

福仲部会長 それでは、本日の案件事項は以上となるため事務局に進行を移したいと思う。

4. 閉会

事務局 以上をもって第4回上牧町学校統合準備委員会（学校教育部会）会議を閉会する。

以上